

令和3年度 松山北高等学校中島分校入学式 式辞

草木が芽吹き、色鮮やかな花が咲き誇る今日の佳き日に、令和3年度愛媛県立松山北高等学校中島高校入学式を、御来賓の皆様の御臨席を賜り、挙行できますことは、在校生並びに教職員一同大きな喜びであります。また、御来賓の皆様におかれましては、御多用の中、ご臨席を賜り、心よりお礼申し上げます。

保護者の皆様、本日はおめでとうございます。心よりお喜びを申し上げます。皆様が大切に育ててこられた将来が楽しみな可能性ある若者たちを、本日から責任を持ってお預かりいたします。そして、本校を卒業するときには、想像を超えるスピードで時代が変化する中で、心優しく、たくましく生きる力を身に付けた青年として、それぞれの次のステージへ力強く踏み出せるよう、教職員一同、精一杯、力を注いで参ります。どうか、御家庭の皆様と学校が力を合わせて、さらには地元中島の皆様にも見守られながら、一人ひとりの成長を支え、それぞれの背中をそっと押して、成長を支えることができますよう、御理解と御協力をお願いいたします。

ただ今、入学を許可しました15名の皆さん、おめでとうございます。はつらつとした皆さんを本校に迎えることができ、とてもうれしく思います。

本校は、昭和23年、向学心に燃える先輩たちが、幾多の苦難を乗り越え、地域の人々を動かして学校を創立されたことは、「開拓者精神」として受け継がれ、本校の伝統的精神となっている今年で73年目を迎える学校です。

さて、高校生活の出発に際して、皆さんは今、夢や希望と期待でいっぱいの中に、少しの不安も抱いていることでしょう。そうした皆さんに松山北高校生として自覚を持ち、自らの可能性を伸ばすために、本校の素晴らしい校訓「文武心」を贈ります。本校では、勉強と部活動、または得意なことに挑戦する文武両道に加えて「心」の成長も書き込んでいきます。「感謝」、「謙虚さ」、「尊敬」など、「心」を磨き、自らの人間性を高める努力をしてください。

また、ここ中島は、歌手坂本冬美さんが第二のふるさとと語っており、彼女が歌った「白いかおりの島へ」の歌詞には、「明るい笑顔の花が咲く島、しあわせな花ざかりの島」と中島を表現しています。島に伝わる「ふるさと中島讃歌」の歌詞には、島の情景を「いのちの声が聴こえる ふるさとの海、母なる忽那の島」と表現されています。この緑豊かで潮風が香る、あたたかさのある中島分校で、皆さん一人一人がそれぞれの個性を發揮し、自分のペースで様々な経験を積み重ねることは、一生の宝物になるに違いありません。

そして、学校生活で不安なことや困ったことがあったら、まわりの誰かに相談してみてください。中島分校は先生方だけでなく、上級生や地元中島の方々も皆さん一人ひとりの気持ちに寄り添い、丁寧に教えてくれ、その不安や心配を和らげてくれることでしょう。

結びに、皆さんが、これからの3年間で、笑顔の花に囲まれ、それぞれの才能を伸ばし、豊かな心を育みながら、人間的に大きく成長し、希望に満ちた高校生活になることを心から願って、式辞といたします。

令和三年四月八日

愛媛県立松山北高等学校長 友澤義弘